



まくべ

わたしたちのまち
 (昭和57年9月1日現在)
 人口 21,305 (+28)
 男 10,522 (+20)
 女 10,783 (+8)
 世帯数 6,310 (+8)
 — 人のうごき (8月中) —
 転入 109人 死亡 13人
 出生 21人 転出 89人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



57年
 10
 No.369

おもな内容

- 地の利を生かした省力栽培を探る……………2・3
- 幕別町功労者等を表彰……………4
- 火の守り任せて……………5
- 初秋に歓声！農民大運動会……………6
- ぼくのお母さんわたしのお父さん⑤……………6
- スポーツひろば……………7
- まちのニュース……………8
- 出土ざっと千三百点（猿別遺跡の発掘）……………9
- ふるさと館ニュース③……………10

収穫の秋

9月11日に途別小学校で、全校生徒が校庭の横にある野菜畑の収穫を行いました。子どもたちは、自分たちの作ったじゃがいもや枝豆を手づかみにして大喜びでした。このあと体育館で、試食を行いました。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
 ●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

地の利を生かした 省力栽培を採る

野菜作付面積の二〇%が大根

本町の野菜生産は、白人(千住)大根を始め、ほうれんそう、ごぼうなど、十勝では一番の作付面積になっています。それは、川の流れにより土砂などが積み重なった肥沃な沖積土壌が、野菜の生育に適しているからで、特に相川地区、千住地区が最適とされています。

初めは生産者個人から個人業者へ販売していましたが、生産者の集まりで組織を設立して、共同販売体制に変わりました。そして、帯広、釧路卸売市場へ出荷をしたり、農協で野菜センターを設置して、高品質・高価格販売により、道外にも出荷しています。

私たちの住む町で野菜作りが盛んなのは、野菜生産者の労苦が実り、今日の「幕別野菜」があるものと思います。

幕別・十勝の野菜は

十勝といえば、十五鈴を超える大規模な畑地帯を連想しますが、この十勝にも野菜産地があることをあまり知られていません。十勝の野菜は帯広市近郊を中心に古くから作られていましたが、道外移出が行われ始めたのは、十年程前のことです。

野菜作りは帯広から半径およそ二十五キロ以内で広がり、帯広市、幕別町、音更町が中心となつて作っています。これら中心地は十勝川沿いの沖積土(川の流れにより土砂などが積み重なった肥沃な土地)の地域にあり、平均耕地規模が十畝以下で、十勝では主に、小規模地帯が野菜作りをしています。こうした耕地面積の狭小性を補

うために野菜が導入され、そして、生産者の苦勞により積極的に取り組んでいます。

幕別の野菜づくり

本町の野菜生産は、十勝川沿いの沖積土の千住・依田・札内地区と相川地区が主な産地となっています。

千住・依田・札内地区は札内農協管轄で、主に帯広卸売市場へ出荷、相川地区は主に釧路卸売市場を中心に出荷していますが、道外にも出荷しています。

野菜生産地は、規模拡大の進んだ畑作地帯に比べて、経営規模が狭小であり、ややもすれば停滞的地区として位置づけられています。そうした耕地基盤の狭小性により、手間をかけて耕地面積のわ

りに収益が上がるものとして、野菜栽培を導入。地域振興を図ろうというところで見直されたのが、野菜であります。

流通関係、移出席地

野菜の出荷は従来、帯広市場への個人出荷か、青果業者扱いという形態で個別に進行していました。こうした旧態依然たる野菜生産を、合理的な市場出荷を目指す産地として再編成する動きが、十年程前から本格的に活発になりました。

野菜生産者は、流通関係の目を養おうと、過去に何回も先進地や野菜集配センターなどの視察を行い、その苦勞が実つて、野菜生産者の横のつながりが強化されたわけです。

幕別農協では、野菜生産出荷対策協議会を設立し、その下にほうれんそう、ねぎ、にら、レタス、大根、にんじん、ごぼう、長いもなどの部会を作るとともに、札内農協では、営農部会の中に野菜部会を設け、地区ごとには生産組合があります。

それぞれの農協に野菜生産組織ができ、従来の個人出荷から共同販売体制へと転換していききました。その一般的な流通機構は、生産者↓農協↓市場↓問屋↓商店↓消費者のようになっていきます。

幕別の野菜生産額は、約十億円といわれていますが、そのうち農協扱いが六億円といわれ、残りの

四億円は直接農家から出荷し、個人業者や露店販売で売られています。

道外消費者の大型化にともない、道内の価格維持にも問題はあるが、地場供給を安定的に維持しながら、畑作地帯としての規模の有利性を生かした大量生産を確保するため、道外移出が検討されてきましたが、この問題も解決され、本格的に本州へ移出が進められています。

道外移出のメリット



ごぼうの収穫(千住地区)

道外移出のメリットは、大型産地化により地場市場で価格暴落を回避しながら、端境期出荷により価格利益と高品質、高価格で販売を行い、道外移出を拡大していることです。

特に中心品目である大根は「チロット大根」として、高品質が認められています。そうした高価格を保障するものとして、出荷調整が問題になりませんが、定時・定量の出荷で解決が



野菜集荷センターの選別

本町での野菜の作付面積は、野菜作りの認識が高まり、昭和四十年には五十八畝、四十五年は八十八畝、五十一年は百八十五畝、そして五十六年には五百畝と大幅に伸

野菜の作付実績

確立されています。これは集荷場の年間事業計画と出荷計画に合わせ、地区別ごとに生産計画がされているからです。一日ごとの入荷量、共選量（農家から出荷した野菜を農協で選別する量）必要反別が逆算され、総作付反別の決定をもとに、個別農家の作付調整が行われています。

また、統一した野菜出荷を行うためにも、農協が農家に種子の供給を行い、農協や普及所の職員により、技術指導が行われています。こうした複雑な調整課程を経て、個別の農家出荷月日を決定し、その逆算による播種月日の決定が行われ、円滑な出荷が可能になるようにしています。

昭和五十六年度の本町での作付面積の多い野菜は、大根・百四畝、ほうれんそう・五十六畝、カボチャ・五十三畝、ごぼう・五十二畝、とうもろこし・五十畝、あとは白菜、にんじん、レタス、長いも、玉ねぎ、キャベツ、長ねぎと続き、特に十勝管内で本町が一番多く作付しているのは、大根、ほうれんそう、白菜、ごぼうとなっております。

こうした出荷量の増大の中で、共同選別体制の整備が必要になります。そこで、幕別農協と札内農協が野菜集荷センターを作り、野菜

び、十勝管内での作付面積は七千三百三十七畝で約七％が、収穫量も一万一千六百キロワと一三％が幕別町で作られていることになりました。

乾燥機、長いも洗い機、大根洗い機、こん包機などを備えています。定温室などもあり、近代化された施設で、近くに住む主婦層が雇用労働をして共選が行われ、道外移出品質向上に役立っています。

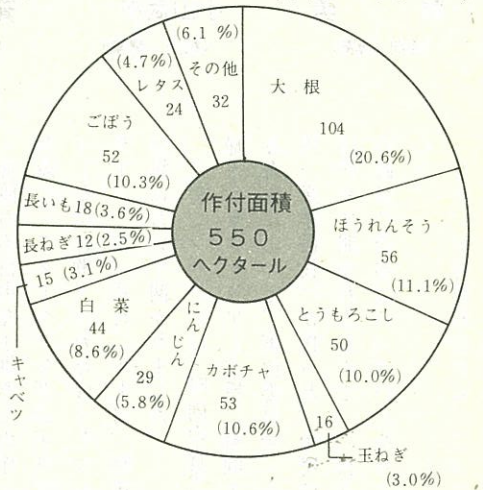
今後の問題点は

現在直面している最大の問題は、地力問題であり、それは、野菜導入により酪農を廃止し、有機質が不足したことが原因です。窒素肥

料の多量使用で「木ばかりできて、豆のさやがよくないし、土塊が大きくなった」という深刻な事態となっております。そのため、酪農家と麦わら、推肥の交換をして、地力回復を図るなどが必要で

野菜の作付面積

(単位・ヘクタール)



千住 130番地 広瀬 始さん

私の経営は、十年前までは典型的な畑作と野菜の混同経営を行っていました。七・五畝という耕地の小規模性のため、手間をかけて面積の割に収穫のある集約作物の導入をしました。その端緒は十五年前であり、本格的な野菜作りは四十八年を出発点とし、ビート、いもを思い切

り、技術上の秘密主義など壁は厚く、共販ができず、四戸の隣保班から出発して、大根の共同作業を

共同作業の内容は、大根を十戸で五・五畝作付し、二戸ずつが共同して作付、収穫を行う体制になっています。さらにアスパラが加わり、各戸五十坪の作付を行っています。農協に集荷場ができてからは、四日おきの半日出役体制となり、労働競合も緩和され「大根洗い」など

家族ぐるみで交通事故に備えましょう

町民交通傷害保険



- 保険料は月額40円で1人2口までOKです
- 保険金は1口当たり最高80万円まで支払われます
- お申し込み、お問い合わせは役場交通防災係、支所、出張所へ

十二人、一団体を表彰

幕別町功労者等表彰式 開町記念日に開催

昭和五十七年度幕別町功労者等表彰式が開町記念日の十月一日に町民会館で開催されました。この表彰は幕別町表彰条例に基づき、本町の自治、経済、社会、文化等の発展に永年尽された方を表彰するもので、表彰された方は自治功労賞一人、社会功労賞八人、産業功労賞三人の計十二人の方と、善行賞は地域の環境整備で奉仕活動をしている札内青葉町第一公区の子寿会老人クラブの一団体です。(敬称略)



社会功労
北原喜市郎
(明野・農業)



社会功労
広野 貢
(糠内・農業)



社会功労
石井正茂
(相川・農業)



自治功労
横山義雄
(途別・農業)



社会功労
末永 武
(札内中央町・会社員)



社会功労
武藤利貞
(五位・商店経営)



社会功労
山中謙治
(札内豊町・商店経営)



社会功労
加藤忠雄
(札内中央町・建設業)



産業功労
乾 勇
(途別・農業)



産業功労
小山武市
(相川・農業)



産業功労
箕浦 真
(美川・農業)



社会功労
村田三男
(五位・製材業)



善行賞・青寿会老人クラブ

やさしさを隣人に! 「赤い羽根」共同募金運動

「赤い羽根」共同募金運動が、十月一日から十二月三十一日までの二ヵ月間、全国一斉にスタートしました。

昨年度、本町では、三百万円が目録額に、わずかながら達しなかったものの、二百九十五万四千円の募金が集まりました。

この内訳を見ますと戸別募金一十五万五千円、大口募金一十七万三千円、中口募金一十一万円、法人募金一十八万六千円、一戸当りでは四百七十五円となっています。

この募金によって、入浴サービス車の維持・管理など、地域福祉活動に大いに役立てています。

今年度は、昨年の実績より四・九%上回る三百十万円を目録額にしています。この内訳は、戸別募金一戸当り三百円以上、大口募金一戸当り二千円以上、中口募金一戸当り千円以上、法人募金一社当り五千円以上を目録に募金活動が行われます。

皆さん一人ひとりのあたためた思いやりが集まって、大きな輪になるよう、ぜひ運動に協力をお願いします。



熱唱に感動の拍手

わたぼうしコンサート開かれる

身体の不自由な子供たちの作った詩に、フォークソングのメロディーを付け歌う「わたぼうしコンサート」が、八月二十七日、町民会館において開かれました。

このコンサートは、町内の青年、婦人ボランティアと主旨に賛同する有志によって、実行委員会(小尾一彦委員長)が作られ、本町では初めて開かれたもので、六百人の観衆で会場はいっぱいとなりました。

なお、実行委員会から、このコ



歌うボランティアわたぼうしの皆さん

ンサートの益金、三十五万円が町社会福祉協議会を通して「町障害者福祉基金」に寄託されました。

火の守り任せて、

幕別消防団が連合演習

幕別消防団連合演習が、九月一日「防災の日」に、幕別町運動公園および幕別市街で行われました。

これは、規律正しい技術と団体行動の敏速を図ることを目的として、毎年、防災の日に行われています。

この日は、朝から雲一つない秋晴れで、九時に全員が運動公園に集合し、小隊訓練、ポンプ操法と、日ごろの訓練の成果を披露しました。

その後、本町の五差路で、模擬火災による一斉放水を行い、八本の見事な水のアーチを描きました。締めくくりは、各分団による分列行進を行い、町民に防災意識の高揚を呼びかけていました。



各分団が幕別市街を分列行進

錦町婦人防火クラブが誕生

このほど、錦町第一公区(区)の婦人五十三人が集まり、本町では初めての婦人防火クラブ、錦町婦人防火クラブ(会長・佐々木美江子)が誕生しました。

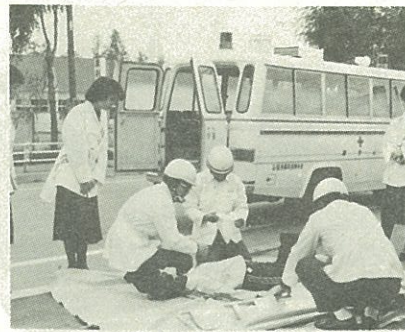
このクラブは、家庭における子どもへの防災のしつけと火災予防に対する意識の高揚を目的とし、地域ぐるみで火災予防のために、消火や避難のしかたなどを、身をもって経験することが、主な活動内容となっています。

九月九日は救急の日

今年から新たに、九月九日に救

急の日が制定されました。

この日は、幕別消防署で、錦町婦人防火クラブの役員三人が、一日婦人救急隊長として、救急出動の美技、人工呼吸のしかたなどを学びました。



一日婦人救急隊長の皆さん

訪問販売に注意

最近、訪問販売や通信販売による問題が増えています。相談内容の主なものは、通信販売の場合

- ①届いた商品のイメージ、品質、性能が違ふ
 - ②商品が届かない
 - ③アフターサービスが悪い
- 訪問販売では、①教育委員会から来たと偽り、教材を売りつける ②福祉の名を使って粗末なものや売る ③身元の不明確な販売など。

このようなトラブルを防ぐためには、通信販売の場合、注文する前に取引条件を確かめることが大切です。訪問販売の場合は、玄関

に入れる前に訪問の目的を確かめることと、セールスマンの身元を確かめることが大切です。

もし、すでにトラブルで悩まれている方、または、トラブルが生じた場合は、役場経済部開発商工課へご相談ください。

防犯運動

お宅の防犯チェックは?

行楽の秋、家族そろって出かける機会も多くなりますが、その時にドロボウがねらっています。家を留守にする場合は、必ずカギをかけるようにしましょう。

十月十一日から二十日まで「全国防犯運動」が行われます。この機会に、もう一度、わが家の防犯チェックをお忘れなく。

健康カルテ

18

あなたは健康ですか?

健康増進のためには、まず自分のからだ全体の健康度を知ることが大切です。その上で、自分のからだの調子に合った健康づくりに努めることがポイントです。

そこで、自分のからだの健康を〇×式でお答え下さい。この答えが全てではありませんが、これを参考にして健康度を

を知り、場合により、医師の診断を受けて、自分の健康度をチェックしてみませんか? この質問は健康保持のため、常に自分が心掛けてみるべき問いです。

- ①食事は普通においしいが、最近、他人にやせたと言われる。
- ②食欲がなく、最近、他人にやせたと言われる。
- ③食欲がないのに、最近、急に太ってきた。
- ④異常なほど食欲があり、最近、急に太ってきた。

- ⑤微熱があり、全身がだるい。
- ⑥食欲がなく、全身がだるい。
- ⑦頭痛がして、手足がしびれる。
- ⑧のどが渇いて、手足がしびれる。
- ⑨健康診断を一年一回受けて、医者にかからないのを自慢している。
- ⑩健康には自信があるので、医者にかからないでいる。

(判定)
①・②・③・⑦・⑧の人は、一度医者へ行く。
④の人は、ステロイド剤という薬を服用していれば医者へ行く。
⑤の人は数日様子を見て、良くならなければ医者へ行く。
⑥の人は数カ月様子を見て、良くならなければ医者へ行く。

⑨の人は健康保持のために理想のタイプです。
⑩の人は四十歳を過ぎたら、年一回健康診断を受けて、健康であることの裏付けをしよう。痛みが全くなく、無症状で、早期発見しかならない、ガンという病気もあります。

(町保健婦・本間栄子)



1チーム20人のジャンボむかで。どう？私のスタイル(札内)



これぞホントの底力。勝負はおしりの重さにかかってます(幕別)

初秋に歓声、 農民大運動会

余波による強風にもかかわらず、一日中、多彩な競技と地区ごとの応援合戦で、農作業の忙しさも忘れて、大にぎわいでした。

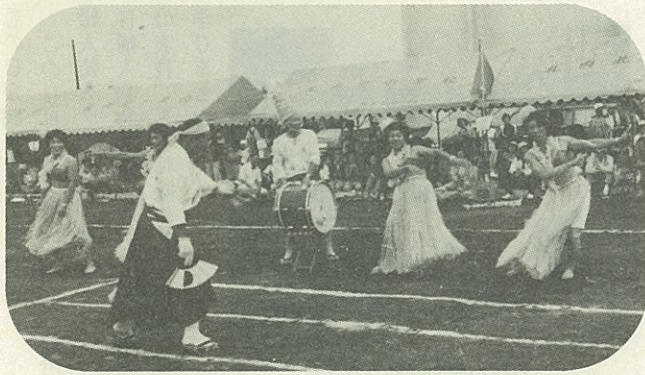
ゴールはまだか！、疲れたヨ。
人間ばん馬競走(幕別)



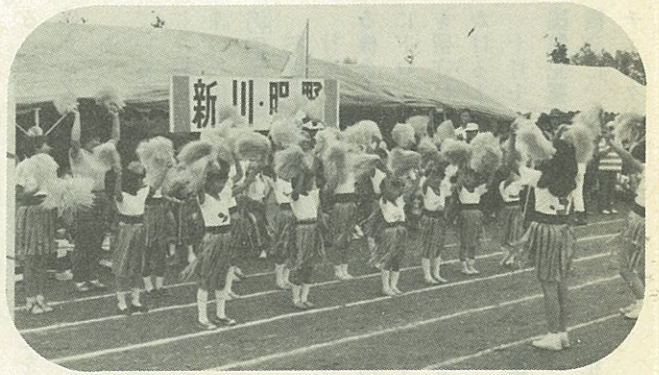
やった！私が一等賞だわ(札内)



八月二十八日・札内農協主催、二十九日・幕別農協主催の農民大運動会が、それぞれ開催されました。この両日は台風13号の



はかまとピエロとフラダンス。なんとも不気味な？応援団(札内)



かわいいチビっ子応援隊。スカートは肥料ぶくろなんだって！(幕別)

ぼくのお母さんは、かんとくしよにとめています。どんな仕事をしているかわからないけど、お母さんは、たいへんだと言います。

土曜日と日曜日は休みだけど、その他の日は五時からいまで仕事をしていますので、つかれると思います。

お母さんは、幕別にひっこししてくる前までは旭川の「ママさんコーラス」で、歌を歌っていました。

お母さんは料理を作っている時や、何かをしている時は、よく歌を歌っています。

そして、仕事に行くようになってからは少なくなりましたが、仕事に行く前は、よく手作りのおかしを作ってくれました。

これからも、からだに気を付けて、仕事にがんばってほしいです。



お母さん



札内南小学校(4年) 寄木研至君

ぼくのお母さん⑤ わたしのお父さん

私のお父さんは、ゴルフがとても好きです。けれどもまだ、ハンディーは十六です。この間のしあいでは、八とうしようでした。

日曜日になると、きまってゴルフのれんしゅうに行っています。ですから、お父さんといっしょに遊べることは、あまりありません。日曜日に、もう少し家にいてほしいと思います。

でも、お父さんのいいなあと、思う点は、たまに休みをとって、どこへでもつれていってくださること、外で野球をして遊んでくれるところです。

お父さんは、おこるとすぐくこわくなります。この間の夜、時間わりを調べるのをわすれて、おこられました。いすごとたおされて次の日、手がいたくなりました。でも、私はお父さんが大好きです。



お父さん



札内南小学校(3年) 永原美幸さん

スポーツひろば

秋はスポーツの季節。
健康な体づくりのため
スポーツをしましょう。



白人野球少年団が優勝

東部十勝少年野球新人戦

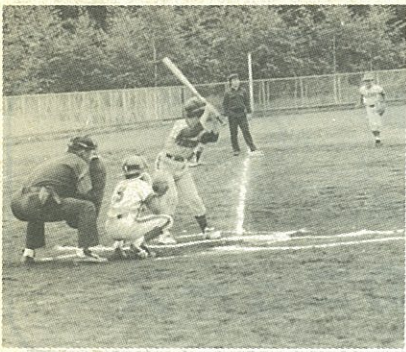
東部十勝少年野球新人戦が、九月十二日と十八日の両日、町営球場ほか三グラウンドにおいて、十三チームが参加して行われました。大会結果は次のとおりです。(関係のみ掲載)

一回戦

白人 3-2 札南
野球少年団 ライオンズ

二回戦

白人 15-1 糠内パックス
野球少年団 フアローズ
札内北 5-2 豊頃
浦幌 2-0 ジャガーズ
ベアーズ 2-0 幕別ジャズ
アイアンズ



熱戦が展開された東部十勝少年野球新人戦

準決勝

白人 7-0 札内北
野球少年団 浦幌
吉野フアーズ 1-0 ベアーズ
イタワーズ

決勝

白人 4-3 吉野フアーズ
野球少年団 イタワーズ

第六回全町陸上競技選手権大会が行われる

第六回全町陸上競技選手権大会が、九月十二日、町営陸上競技場で行われました。(一位のみ掲載)

男子の部 (小学生)

▽一年六十歳・前田重孝(幕小)▽二年八十歳・中本英俊(幕小)▽三年百歳・有沢徹造(幕小)▽同千歳・斉藤吉弘(幕小)▽四年百歳・相沢幸輝(相川小)▽同千歳・塚本尚弘(幕小)▽五年百歳・金尾泰明(白小)▽同千五百歳・黒島誠計(相川小)▽同走り幅跳び・大橋亘(募小)▽同走り高跳び・山田一博(相川小)▽六年百歳・橋本剛(糠小)▽同千

五百歳・神馬強志(幕小)▽同走り幅跳び・橋本剛(糠小)▽同走り高跳び・中村靖紀(途別小)

女子の部 (小学生)

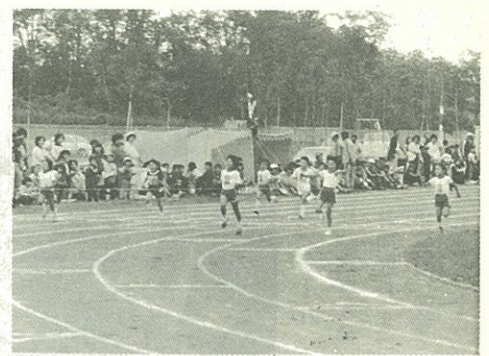
▽一年六十歳・折笠由紀(幕小)▽二年八十歳・山田恵子(糠小)▽三年百歳・松岡淑恵(糠小)▽同千歳・黒島敦子(相川小)▽四年百歳・大野弘美(途別小)▽同千歳・大野千恵子(札南小)▽五年百歳・金野友美(幕小)▽同同・長尾徳子(幕小)▽同千歳・石田繁代(途別小)▽同走り幅跳び・佐野利恵(幕小)▽六年百歳・増山己記(札北小)▽同走り幅跳び・鈴木聡美(途別小)▽同走り高跳び・井上益美(札北小)

男子の部 (中学生)

▽一年百歳・沢田敦(札中)▽同千五百歳・長谷川英人(札中)▽二年百歳・石野英樹(札中)▽同千五百歳・植松繁(札中)▽三年百歳・豊吉勝也(札中)▽二、三年三千歳・神山和寿(札中)▽共通二百歳・豊吉勝也(札中)▽同四百歳・豊吉勝也(札中)▽同八百歳・植津満宏(札中)▽同百十歳障害・高橋孝広(札中)▽同八百歳リレー・札中A(神山・高橋・植津・豊吉)▽同走り幅跳び・岡野新一(札中)▽同走り高跳び・渋谷真(札中)▽同砲丸投げ・上田秀一(札中)

女子の部 (中学生)

▽一年百歳・田村陽子(札中)▽二年百歳・石川おかり(札中)▽三年百歳・金田育子(札中)▽共通二百歳・金田育子(札中)▽同八百歳・高



陸上競技大会で力走する小学生

橋佳江(札中)▽同百歳障害・岩井衣子(幕中)▽同走り幅跳び・金尾由美子(札中)▽同走り高跳び・穴水ちさ子(札中)▽同砲丸投げ・川村ひとみ(幕中)▽同四百歳リレー・札中B(香田・田村・佐藤・松田)

男子の部 (高校生)

▽共通百歳・黒地博樹(帯工)▽同二百歳・平泉明宏(帯工)▽同四百歳・小沢浩幸(帯工)▽同八百歳・渡辺琢生(帯工)▽同千五百歳・渡辺琢生(帯工)▽同五千歳・伊賀克己(音更)▽同八百歳リレー・帯工(小沢・黒地・佐藤・平泉)▽同走り幅跳び・佐藤栄治(帯工)▽同走り高跳び・佐藤慶治(帯柏葉)▽同砲丸投げ・川口進(帯工)

札内春日町が優勝

第二十七回町民野球大会

第二十七回町民野球大会が、九月五日に町営球場ほか三グラウンドにおいて、十二チーム・百八十四

人が参加して行われました。

一回戦

札内中央町 4-1 札内青葉町

札内春日町 7-0 五位

緑町第一 3-7 明野

緑町第四 3-2 札内葦草

二回戦

糠内西糠内 5-3 中里

札内春日町 5-3 札内中央町第二

緑町第一 3-5 緑町第四

旭町第二 5-2 明倫

準決勝

札内春日町 12-3 糠内西糠内

緑町第一 3-8 旭町第二

決勝

札内春日町 5-0 緑町第一

テニスコート拡張

記念大会が行われる

テニスコート拡張記念テニス大会が、九月五日、町営テニスコートにおいて、男子二十四人、女子二十六人が参加して行われました。

男子の部

準決勝

奥田・芝木組 4-0 郷・大島組

宮本・有沢組 4-2 末吉・松村組

決勝

奥田・芝木組 4-2 宮本・有沢組

女子の部

準決勝

加瀬谷・豊田組 4-0 中野・鈴木組

中村・大島組 4-0 松山・中高組

決勝

中村・大島組 4-2 加瀬谷・豊田組



まちのニュース



・敬老会に四百六十五人が参加
九月十六日から十八日まで、三カ所で開催。今年の対象者（七十五歳以上）は七百二人で、米寿の方十四人に記念品が贈呈されました。



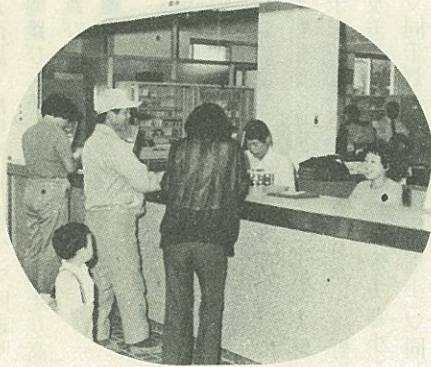
・もういちど しんじょう
よくみて わたろうね
幕別小・中学校付近の平和通り二カ所に、歩行者の安全を守るため、交通安全の看板を設置しました。



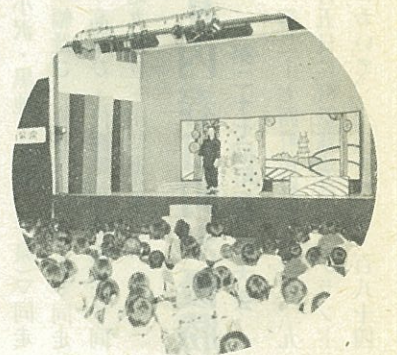
・雌阿寒岳を登頂・町民登山会
九月五日に町民登山会を開催。この日は八歳の子どもから六十四歳のお年寄りまで五十人が参加。一人の脱落者もなく、登頂しました。



・道交通安全キャラバン隊が来町
北海道交通安全母の会が行っているキャラバン隊が、九月八日に来町し「交通安全は家庭から」を訴えました。



・幕別郵便局が移転しました
本町五一番地に完成し、九月二十日から新しい局舎で仕事をしています。窓口が今までの二倍と広く、利用しやすくなりました。



・札内南小で演劇観賞会
日ごろ、演劇を観賞する機会が少ない子どもたちに、北海道巡回小劇場が開かれ、町内の小学生千二百人が観賞しました。



・相川でかかしコンクール
（いかん）別神社の秋祭り、で、かかしコンクールを開催し、三十体あまりのかかしが境内に勢ぞろい。人気投票で順位を争いました。

ストップ・ザ・交通事故

— 4 —



重岡95
岡坂 正美さん

シート・ベルトを

着用しよう！

私は、最近の異常ともいえる交通事故の発生に、強い衝撃を受けており、中でも同じ若い世代の仲間が、その事故の多くにかかわりを持っていることは非常に残念であります。

スピードの出し過ぎから起こる事故の責任は、運転者です。でも、もう一つの責任は、自動車会社にもあると思います。高速道路を走っても、時速百キロが限度なのに、なぜ、より以上のスピードが必要なのでしょうか。自動車会社も運転者の身になるより、交通安全のモラルの確立のために動かなければならないと思います。

それから、運転者の身を守るシートベルトの着用が少ないようです、たったワンタツチのベルトなので、皆さん着用しましょう。

出土ざっと1,300点

猿別遺跡の発掘調査

七月二十八日から八月二十三日まで、猿別遺跡の発掘調査が行われました。

昭和五十三年には南勢遺跡が発掘され、本町では今回が二度目の遺跡発掘調査で、前回の三倍もの石器、土器片が発掘されました。

発掘現場は猿別市街から道道幕別明倫停車場線を南へ約六キロの地点で、面積は七百五十平方尺。遺跡からは、約千三百点もの石器、土器片が出土し、中には一カ所にかたまわって出て来た復元可能な土器が三つぐらいあり、その様式からおおよそ四千年前

の縄文中期の遺跡と推測されます。猿別遺跡は、藻琴、屈斜路コタシ遺跡に近い形態ですが、とくに火山灰の堆積層である十勝Cの様子がきわめてはっきりしており、その年代設定に大きな手掛かりを与えています。



発掘調査が行われた猿別遺跡

また、水の中に含まれる鉄分が、植物に付着してできる高師小僧が多く見つかり、中には直径十センチほどの三つもの石器、土器片が発掘されました。

現在、遺跡の出土品の復元や分析にあたり、来年三月までに資料としてまとめる予定です。

なお、皆さんの住んでいる地域で、石器や土器片が発見されましたら、町教育委員会までご連絡下さい。

短歌

あゆみ会

八月例会

十勝博の農機具機械化すばらしき開拓当時の農具思ひ居り

亡き夫の誕生日なるも今はただ吾が胸にのみ子等は忘るる

子等のため守り抜きたしこの平和ノ一モア広島アイシユピツツよ

大ききの差もなくなりて夫婦茶碗ペアーカップとウインドにあり

野良帰りの野草に際立つ山百合を仏花にとりて心安らぐ

松田 忠子

溝口 フミ

安藤 温子

斉藤ヒデ子

川田ミツエ

どもある巨大なものが見つかるなど、いくつかの成果が表われています。

以前行われた遺跡分布調査では、この付近だけでも合わせて五カ所の遺跡が確認され、本町全域では、九十五カ所もの遺跡が確認されています。

このことから、数千年前の先住民にとっては、丘と川に恵まれた本町の地形が、住むのに適していたと推測されます。

現在、遺跡の出土品の復元や分析にあたり、来年三月までに資料としてまとめる予定です。

寄付者のお名前

町へ……

▽小林千久代さん(札内春日町)から快気祝として、白人小に孫がお世話になっているということので十万円

町社会福祉協議会へ……

▽須田武夫さん(札内中央町)から父が生前お世話になりましたと身障分会へ五万円
▽山田定雄さん(糠内)から母が生前お世話になりましたと五万円
▽西田利文さん(途別)から母が生前お世話になりましたと十万円
▽小島仲次郎さん(緑町)から妻が生前お世話になりましたと十万円
▽佐藤久蔵

さん(札内春日町)から妻が生前お世話になりましたと五万円
▽匿名の方から千円
▽小林千久代さん(札内春日町)から快気祝として五十万円

老人クラブへ……

▽松田忠信さん(明倫)から明倫老人クラブへ三万円
▽鯖戸辰蔵さん(新和)から新和老人クラブへ一万円
▽村田レンさん(新和)から新和老人クラブへ三万円
▽及川国男さん(猿別)から西猿別老人クラブへ二万円
▽須田武夫さん(札内中央町)から札内寿会へ五万円
▽西田利文さん(途別)から途別長寿会へ三万円
▽石野政一さん(上稲志別)から日新寿会へ一萬五千元

図書百九十一冊を寄付

町料飲店組合

町料飲店組合(会長・千葉幹夫)では、七月十七日に町民会館において「チャリティー・樽生ビール



福田教育長に目録を手渡す千葉幹夫会長

飲み放題」を開催し、その益金で、図書百九十一冊(十五万円相当)を購入、町教委に寄付されました。

岡山市青年団体協議会から六万三千円の寄付

岡山市青年国内研修生が本町を訪れ、岡山市青年団体協議会が愛の募金活動による募金を本町の福祉に役立ててもらいたいと、研修生に託して、町へ六万三千円の寄付がありました。



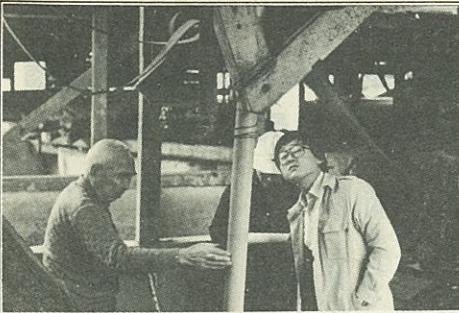
大石町長に手渡す研修生の皆さん

サケを見守って!
温かい気持ちで……

今年も私たちの故郷の川に、数多くのサケが回帰しています。大切な資源を守るため、サケの密漁はやめましょう。

幕別町ふるさと館

089-05 幕別町字依田384-3 ☎(01555) 6-3117
AM 9:30→PM 6:00 毎週火曜日休館



工場内部
左が小笠原正雄さん

あかえりなさい

サーモン通信 24



十月三日から見られます。これは大樹町の杉森漁業部の協力で、海で捕獲したものを生け簀に入れて運びます。

なぜ近くの川にのぼってくるサケを飼わないのかとお思いのことでしょう。海から川に入ったサケはすべてふ化増殖事業の対象として扱われます。したがって国(水産庁)の管理下に置かれ、それ以外の機関や個人が親サケを飼育したり、採卵することはできません。これは資源保護のため当然のことです。

そこで海にいるサケを生け捕りにして飼育するわけです。この場合、卵のふ化観察をふるさと館や学校でもできることとなります。

産卵の感動をあなたにも

十月二十日前後に水槽での産卵があると思います。産卵時期のピークに合わせて、昨年と同じ

小笠原澱粉工場がテレビに

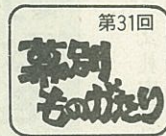
ふるさと館ニュース②の「幕別ものがたり」で紹介した全自動澱粉工場がNHK「北海道の窓」に登場します。

昭和二十二年に操業を始めた小笠原正雄さん(美川)の澱粉工場は、まさに省エネ工場でした。製造工程の動力はすべて水力でまかなわれていました。毎日十トンの澱粉を澱粉にし、しかもたった一人

の操作でできたそうです。十勝には個人経営の澱粉工場がたくさんありましたが、やがて大規模工場がとってかわりました。そうした時期にもこの工場は最後まで残り、そして現状と未来を探る番組です。放送予定は十月二十六日朝七時三十分、再放送は同じ日の昼一時二十五分

ようにオールナイト観覧会(二十四時間開館)を三日間続けます。入館料は平常通り(大人200円・小学生100円)です。腕に自信のある人もない人もカメラやビデオを持ってお出かけください。じっと見守るだけの人もぜひどうぞ。

過去三年間の経験では、満潮・干潮時間の前後三十分以内に産卵するようです(科学的な根拠は解りませんが)。この時間帯をねらえば自然のドラマを自撃するチャンスは大です。



馬小屋改造の校舎

大豊小学校

思い出の学校⑦

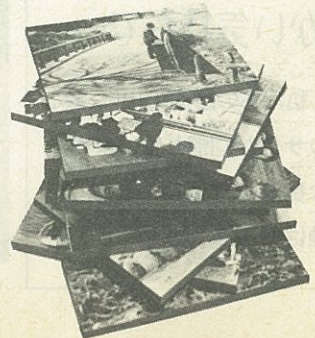
昭和二十二年に開校した大豊小学校は、同五十三年の三月、わずかに三十年の短い使命を終えた。

太平洋戦争の最中、軍用地として接収されたこの地が戦後開放され、軍人軍属の関係者が中心となって、再び開拓の嶽が下ろされた。戦争が終わった頃は、長く住みなれてきた人たちがさえた大変な時代だった。遠くは樺太から入った人も含め、農業の経験のない人たちの開拓は大変な苦勞の連続だった。着る物も食べる物も貧しい中で地域に学校を設立したのはこのような入植者たちの、困難を乗り越える気力と子弟への愛情だった。小さい子どもたちが五、六の通学をするのはかわいそうだと、昭和二十二年、父兄のほか通学児童のい

幕別昭和史

第7回特別展・10月3日から
写真で見る

役場にはたくさんフィルムが保存されています。その中から四十六点を選んで写真展を企画しました。昭和初期から四十年までに撮影されたものを全紙に再プリントしました。一枚の写真から記憶をたどってみる——見る人それぞれの



思い出が鮮やかによみがえってくることでしょう。

担当スタッフは横井昇、千葉幹夫、居川研治、中橋幸二の四氏です。



開校当時(昭22)の全校児童

子どもたちは運動会・学芸会など大きな行事はもろろんのこと、学校の日常生活に一年から六年まで、グループを作ってよく相談して助け合った。市街地の学校や帯広での行事にもよく、歩いて参加した。遊びたい気持ちをおさえて農作業の手伝いもした。そのようなかで「強く、明るく、正しく」三百二十名の子どもたちが巣立っていった。

(取材・斉藤すみ子)

大豊小学校の前身は、戦時中(昭和十二年)に廃校になった止若高台尋常小学校である。町史によれば、大豊が軍の飛行場用地として買収され、人々は他の地区に移住していった。同校は解体され中里小学校、上郷内特別教授場の校舎に生まれかわった。とある。軍用地として接収されていた九年間は、大豊地区の学校の歴史上、空白である。